



平成 10 年 5 月

三鉄マークの鬼瓦を 9 個も使用していた

貴重な駅舎だったが解体され、平成 17 年 9 月 14 日 駅舎を吉浜方ホーム先端に新築移設

小垣江



平成 18 年 8 月 6 日



昭和 53 年 10 月



平成 10 年 5 月

吉浜



平成 17 年 9 月 14 日…駅管理システム導入のため再改築

三河高浜



平成 10 年 5 月



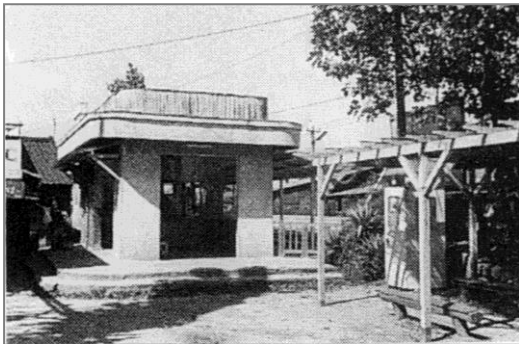
橋上駅化…平成 6 年 12 月 25 日



昭和 55 年 7 月

新須磨 → 碧南中央

昭和 55 年 12 月 14 日、新須磨駅から知立方に 0.2km 移設し碧南中央駅に改称



昭和 55 年 12 月以前

平成 25 年 7 月 1 日



昭和 58 年 7 月

拳母 → 豊田市



駅舎…昭和34年頃

大正9年11月1日 拳母駅として開業、昭和34年10月1日豊田市駅に改称

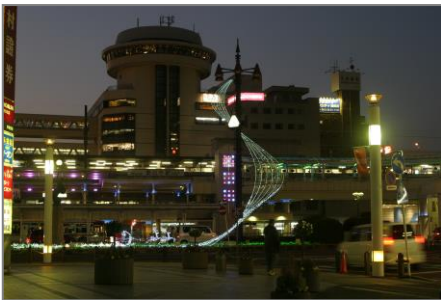


上…拳母駅・下…豊田市駅

拡大すると駅名が判る。



平成10年



冬の風物詩…イルミネーション

平成20年12月10日

トヨビル開業 昭和36年7月24日 駅舎は地下駅化となる。



地下の出札窓口



トヨビル…昭和45年 2階建てから4階建てに増築

梅坪

昭和 54 年 7 月 29 日、豊田新線(昭和 61 年 9 月 29 日…豊田線に改称)が開通し起点駅となる。



昭和 60 年



昭和 48 年



仮駅舎 昭和 51 年 9 月

梅坪の「開驛記念碑」は旧駅舎越戸方の築山にあったが、駅前整備や豊田線開業高架化工事で、3乃至4回、移動し現在箇所に落ち着いた経緯がある。裏面を見ると「大正 12 年 8 月建之」と刻んである。梅坪駅が開業したのは、大正 12 年 10 月 26 日。開業前に開驛記念碑が？

昭和 32 年頃、猿投在住の職場の先輩に尋ねたことがある。明治中頃まで地名は「梅ヶ坪」。その後「梅坪」と地名変更。駅が開業するとき「『梅坪』派」と「『梅ヶ坪』派」で争ったため、開業が 2 ヶ月遅れたとか。その後、「知乗の生き立ち(平成 7 年 11 月 16 日発行)」を書くとき改めて、書物や名鉄文庫(現・名鉄資料館)などで調べたが真相は判らなかった。



上 2 枚…昭和 46 年

梅坪開驛記念碑



昭和 51 年 6 月



平成 20 年 11 月 14 日



平成 25 年 5 月 25 日

平戸橋



平成 10 年 4 月



平成 21 年 12 月



昭和 30 年代



昭和 20 年頃



平成 10 年

三河八橋



高架化…平成 21 年 12 月 12 日



平成 24 年 9 月 12 日



上…昭和 54 年

下…昭和 33 年



昭和 34 年



下…平成 24 年 9 月 12 日



三河知立

昭和 34 年 4 月 1 日「知立駅」を名古屋方に新設しそれまでの知立駅を分割。三河線の知立駅を三河知立駅に名古屋本線の知立駅を東知立駅(昭和 43 年 1 月 7 日廃止)に駅名を改称



土橋

土橋駅舎は、伊勢湾台風で罹災し改築。平成7年3月11日、乗務員合宿所も兼ね新築したが駅前を拡張するため、平成22年3月27日、橋上駅が完成。南北に駅前広場ができ、一般通路も併用。これで鉄道利用者は勿論、地域住民も便利となった。



平成7年3月11日新築された駅舎



伊勢湾(15号)台風で改築された駅舎…昭和54年



竹村方から見る

橋上駅化…平成22年3月27日
(南北自由通路併用)



上…南口 下…北口



平成23年7月11日

HL姿消す

3700系



3715号車…(台車は旧・1088号車)

(注) 3700系 第1次車の3701～3704は、昭和32年10月1日MMで登場し、その後、Mc=Tc組成に変更。第2次車は3705～3721、第3次車は3731～3763、第4次車は3771～3776で、第3次車3731号車以降は名鉄初の両開き扉(1100→1300mm)になった。



トヨタ自動車前(左→3700・右→3780)

3700系(3700・3730・3770・3780形)は、主に三河線で活躍した(1060・1070・1080・3200など)木造車や半鋼製車を改良した車両で3700形は三河線で最後(平成8年4月8日)を迎えたが3780形は平成8年5月26日、瀬戸線でその一生を終えている。

なお、常滑線では、平成8年3月20日、3730形のさようなら運転が実施された。



瀬戸線ではスカーレットにホワイトの帯

引退を目前に控えた3700形



三河知立～知立間…平成8年4月4日



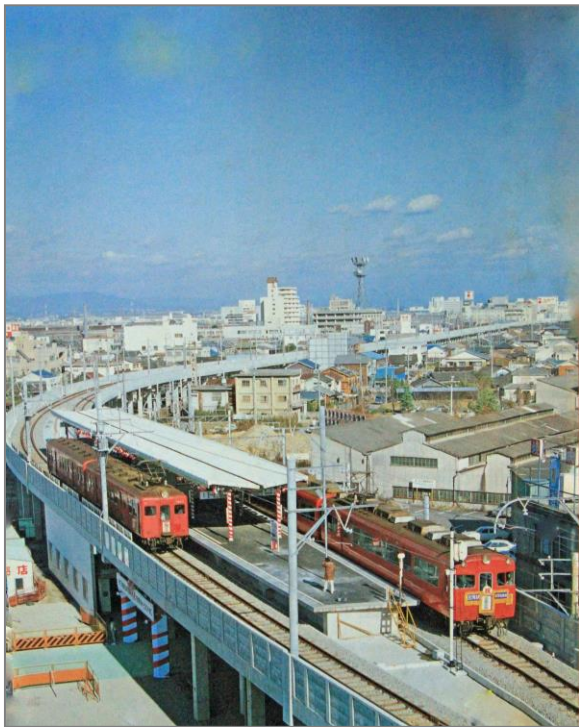
三河知立～知立間…平成8年4月4日



平戸橋…平成8年4月4日

高架区間

高架化区間	切替年月日
刈谷市付近(刈谷～刈谷市～小垣江)2.3km	昭和55年12月14日
上挙母～梅坪間 3.4km(単線)	昭和60年12月1日
豊田市～梅坪間 1.4km(複線)	昭和61年10月1日
寺津～三河楠間 533m	平成10年4月24日(平成16年4月1日廃止)
越戸付近 1.3km	平成11年7月3日
三河八橋付近 1.6km	平成21年12月12日



刈谷市付近





上拳母～豊田市間



豊田市



上拳母～豊田市～梅坪



梅坪の分岐点(左…豊田新線 右…三河線)



上…豊田市の梅坪方 下…梅坪

梅坪…仮駅舎



豊田市新駅舎 高架完成

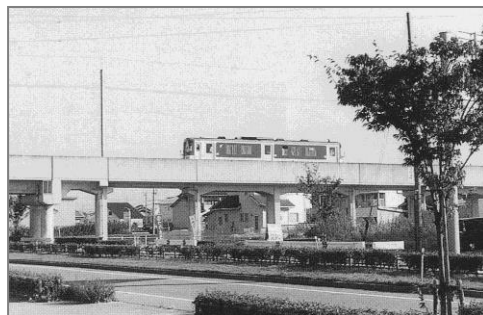


昭和60年11月1日

寺津～三河楠間



平成 10 年 4 月 24 日、使用開始し僅か、6 年足らずで、無用の廃物(平成 16 年 4 月 1 日廃線)と化する。



越戸付近

左…越戸駅(上りホーム) 下…籠川橋梁
平成 22 年 2 月 28 日



三河八橋付近 高架切り替え

平成 21 年 12 月 11 日終列車後切り替え



三河知立方の切り替え箇所



若林方の切り替え箇所



LE-car

10形



三河御船～枝下間 10形…2期車

西中金
LEカーとは Light Economy-Car の略で、富士重工が閑散線区用に開発した商品名。「レールバス」のことである。

名鉄では昭和 59 年 3 月 23 日、八百津線で営業運転したのが最初で、猿投～西中金間では、昭和 60 年 3 月 14 日、碧南～吉良吉田間では、平成 2 年 7 月 1 日から営業運転を開始した。

10 形 1 期車 (11,12,13 号車) 3 両は、非冷房車で八百津線に、猿投～西中金間の 2 期車は(14,15,16 号車)は冷房車のため、60 年 6 月に三河線は 12,14,16 の偶数車、八百津線は 11,13,15 の奇数車に差し替えられた。10 形は 1 軸台車のため、横揺れが酷く乗り心地が悪いと旅客や運転士に不評だった。

平成 2 年 7 月 1 日、碧南～吉良吉田間にも LEカーが導入。新造車 20 形のボギー台車が導入された。

左…碧南中央に進入する 20 形。猿投検査場で車両検査のため、1 日 1 往復、碧南～猿投間を営業運転していた。

猿投に停車中の 20 形

20形





30形の発車式(碧南)…平成7年3月1日

30形

平成7年2月、10形が廃車され、代わって登場したのが30形、この30形には砂撒器付き車両となり、山線で秋になると落葉が原因で空転し、登坂不能で苦しんだ運転士に朗報をもたらした。

しかし、過疎路線の生き残りをかけて、導入したLEカーも利用客の減少に歯止めがかからず、平成16年4月1日廃線となった。



上…三河平坂～三河楠間

下…三河広瀬



上…西中金～三河広瀬間

下…吉良吉田







松木島

65